

教育と文化のまちづくり

施策 2-1-2 これからの時代を生き抜く力を持つ子ども の育成推進 子どもたちが健やかに成長する環境づくりの 推進

■ ■ 現状と課題 ■ ■

- 本市では、令和元年に策定した「米沢市教育等に関する施策の大綱」において、「教育の米沢品質」を共に創り上げ、持続可能な社会に貢献できる人づくり」を基本理念と定め、新たな時代にマッチし思いやりを持った「*がってしない子ども」の育成を目指しています。
- 学校教育については、学校の小規模化や子ども同士の関わりの希薄化等が問題となっているほか、不登校、不適応、問題行動等の原因も複雑化する傾向があります。課題を抱えた児童生徒が増加していることから、関係団体と連携・協力し、児童生徒及び各家庭への支援や適切なケアを行う必要があります。また、国の様々な教育改革の施策を踏まえ、また「米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画」に基づき、適正な児童・生徒数や学級数を確保するための取組を推進する必要があります。とともに、子どもたちが安心して学習できるように、教育環境の整備が求められています。
- 基礎学力を高めるとともに、読解力や表現力、豊かな感性の育成が求められていることから、ICTを活用した教育を推進したり、家庭学習の充実や読書習慣の確立を図ったりしていく必要があります。そのためにも、新学習指導要領に沿った自ら学び、考え、判断して行動し、より良い社会や人生を切り開いていく力を育めるよう教育内容を充実させる必要があります。一人ひとりが自らの資質や能力を活かし、誇りと自信を持って生きていくためには、確かな学力と感性豊かな心を育むことが強く求められています。
- 高等学校教育については、教育内容の充実とともに、地元進学率、就職率を高めるための取組を促進するよう県に働きかける必要があります。専門学校教育については多様な社会ニーズに対応した教育内容の充実を図る必要があります。
- 青少年の健全育成については、情報化の進展による有害情報の氾濫、昼夜を問わないライフスタイルや商業活動等を背景に、青少年を取り巻く環境は複雑化しています。今後とも家庭、学校、地域と行政が連携を強化し、環境浄化を図りながら青少年の健全育成を推進していく必要があります。

* がってしない(→P.○参照)

- 価値観の多様化が進み、社会環境が大きく変化する中、子どもたちの健全育成を図るためには、家庭、学校、地域が密に連携して教育を推進することが求められています。た地域教育体制を構築し、家庭教育の支援や、公德心・規範意識等の醸成を図る必要があります。

■ ■ 施策の目指す姿 ■ ■

子どもたちが楽しく学習し、確かな学力を身につけ、健康な身体をつくとともに、郷土愛が育まれ、夢や目標をもって学ぶ自ら考え行動し、社会を生き抜く力と、思いやりや相互理解力を併せ持った「がってしない」子どもを、地域全体で育むまちを目指します。

教育体制づくりを推進するとともに、子どもたちが社会を生き抜く力とを豊かな心を育むことができるよう、学校教育と社会教育の連携・充実により青少年の健全育成を図ります。さらに、時代の変化に柔軟に対応した教育の充実を図り、教育環境の整備や地域に開かれた学校づくりに努めるほか、高等教育や専門学校教育の充実を促進します。

■ ■ 施策での取組 ■ ■

2-1-1 自ら学び考え行動できる力を育む学校教育の充実

担当課：学校教育課

- 学校と家庭での学習に関連性を持たせ、学んだことを日常生活に結びつけながら理解・活用できる子どもの育成を目指します。また、土台となる基礎学力を活かして生涯にわたって自ら学び続ける児童生徒の育成を目指します。
- より良く生きるための基盤となる道徳性を養い、豊かな人間形成と人間関係づくりの教育を充実させます。また、不登校やいじめ等の未然防止や早期対応に努めるとともに、特別な支援を必要とする子どもや学校不適應の子どもへの継続的かつ組織的なきめ細かい支援を推進します。
- いのちを育む大切さ等、豊かな人間形成と人間関係づくりの教育を充実させ、不登校やいじめ等の未然防止を図るとともに、学校不適應の子どもたちへの一貫した支援を推進するため、支援体制の整備や関係機関との連携を図ります。
- 自立心を育み、社会への積極的な参画のために、キャリア教育の推進や自分の思いや考えを伝えるコミュニケーション力・発信力の育成を図ります。
- 郷土に愛着を感じ、本市の将来を担う意欲ある人材を確保するため、心の教育の充実を図り、自立心やチャレンジ精神の育成を推進します。
- 学校評価の充実等、地域へ開かれたより良い学校づくりを進め、地域と一体となった学校づくりを推進します。
- ICTを有効に活用した学習や学校教育の情報化の推進、読書活動の推進、外国語

教育、理数教育、道徳教育の充実を図ります。また、健康の保持増進や体力向上に努めることにより、知徳体のバランスの取れた児童生徒の育成を目指します。

- 「あそび」を中心に、様々な好奇心を引き出しながら個性を育て、集団の中で視野を広げることで、生き抜く力の基礎となる幼児教育を推進します。

2-1-2 学びを支える教育環境の充実

担当課：教育総務課、学校教育課

- 子どもたちの豊かで確かな学びを実現するために、「米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画」については、国の様々な教育改革の施策を踏まえ、見直し等の検討を行います。に基づき、小中学校の再編を推進します。
- 学校施設長寿命化計画等に基づき、施設の老朽化に伴う改修を計画的に進め、子どもたちが過ごしやすい安全・安心な環境づくりに努めるとともに、省エネルギー化等の環境に配慮した施設整備を推進します。
- 学校給食の安全性確保及び食の教育（地産地消の推進等）の充実を図り、効果的かつ効率的な学校給食実施体制の構築を推進します。
- 給食の衛生管理徹底と衛生対策の充実を図るほか、学校給食の地産地消を推進します。
- 高等教育機関と連携し、子どもたちへの学習講座を推進することで、地元大学の分野に興味を抱くきっかけづくりを促進します。
- 安全教育の充実を図るとともに、子どもたちが安全・安心に過ごせるよう、地域との連携を推進します。
- 教員が働きやすい環境の中で、子どもたちの豊かな学びを支えるため、学校における校務や学習でのICT環境の整備と活用、学校図書館等の充実を推進します。

2-1-3 連携を活かした教育の充実

担当課：総合政策課、学校教育課

- 安全教育の充実を図るとともに、子どもたちが安全・安心に過ごすことができるよう、地域や関係機関との連携を推進します。
- 学校・地域が連携を図り、地域人材の活用や地域行事への参加、伝統文化の継承等、地域との関わりを創出し、郷土愛を醸成するなど、地域と一体となった学校づくりを推進します。
- 図書館や博物館との連携を重視した学校教育を推進し、自ら調べ、考察し、人に伝える等、学ぶ力の育成を目指します。
- 幼保小中が連携して、学校間の円滑な接続と適切な指導に努め、自己肯定感や自尊感情を育みます。また、高等学校や大学等の高等教育機関と連携を図り、自分らしい生き方を実現させるための力を育成します。

2-2-3 高等学校・専門学校教育の充実

担当課：総合政策課、学校教育課

- 個性ある魅力的な高等学校教育の推進と私立高等学校に対する助成拡充を県に要請するとともに、多様なニーズに対応した専門学校教育の充実を
- 高等教育機関の出前講座等を活用し地元大学への興味を持ってもらうなど、高等学

2-5へ移動

校と大学の連携をさらに推進し、地元大学への進学率の向上を促進します。

2-2-4 青少年の健全育成

担当課：社会教育・体育課

- 家庭・学校・地域との連携強化を図り、子どもを地域で見守り育てる環境をつくることで、青少年の非行防止に努めるとともに、大人が子どもの手マナーアップ活動や時代に即応した情報教育を進め、環境の浄化青少年の健全育成を推進します。

2-2へ移動

■主な事業：小中学校施設整備事業、(仮称)南西中学校施設整備事業、スクールガイダンスプロジェクト、外国語教育充実事業

■ ■ 市民・地域・事業者等に期待する役割 ■ ■

- ・ (児童・生徒・**市民・地域**) いのちの大切さを理解し、優しさや思いやりをもって人と接しましょう。
- ・ (児童・生徒) 自ら課題解決する力を身に付け、豊かな社会や自らの生き方につなげましょう。
- ・ (市民・地域) 学校と連携し、学校の運営を支援しましょう。

■ ■ 目指す目標値 (活動指標・成果指標) ■ ■

No	成果指標名	現状値の年度	現状値	前期目標値 (R2)	後期目標値 (R7)	担当課
1	学校給食における置賜産農産物の使用割合(野菜)	H25	30.6%	35.0%	=	学校教育課
2	学校給食における置賜産農産物の使用割合(果物)	H25	21.0%	30.0%	=	学校教育課
1	<u>自己肯定感(自分には良いところがあるか)を感じている子どもの割合</u>	R1	<u>小学校 85.1%</u> <u>中学校 78.3%</u>	=	<u>小学校 90%</u> <u>中学校 83%</u>	学校教育課
2	<u>自己のキャリア(将来の夢や目標を持っているか)について前向きに考えている子どもの割合</u>	R1	<u>小学校 82.4%</u> <u>中学校 71.8%</u>	=	<u>小学校 88%</u> <u>中学校 80%</u>	学校教育課
3	<u>思いやり(人が困っているときは、進んで助けるか)の気持ちを行動に移そうと考えている子どもの割合</u>	R1	<u>小学校 84.4%</u> <u>中学校 83.6%</u>	=	<u>小学校 89%</u> <u>中学校 88%</u>	学校教育課
4	<u>読書を好む子どもの割合</u>	R1	<u>小学校 75.8%</u> <u>中学校 65.0%</u>	=	<u>小学校 80%</u> <u>中学校 75%</u>	学校教育課

施策 2-2-1 生涯学び、学びを活かして元気に活躍する

人づくりの推進 ~~生涯にわたり学べる環境づくりの推進~~

■ ■ 現状と課題 ■ ■

- ~~*グローバル化や高度情報社会等の進展により、絶えず新しい知識や情報が発信される環境の中、市民の学習ニーズは多様化し、幅広い分野や専門性の高い学習内容の充実が求められています。自分に合った学習手段や方法が自由に選択できるようICTを活用するなど提供方法の充実を図る必要があります。~~ ています。また、生涯にわたり生きがいのあるライフプランづくり等、心の豊かさや自己実現を図る学習環境が求められています。
- インターネットやスマートフォンが普及し、実体験を伴わないバーチャルな世界に触れる機会が増大する中、乳幼児期、学齢期においては、自然や歴史文化などの「本物」にふれる直接体験の機会を充実させることが重要になっています。また、人生100年時代を迎え、成人期、高齢期においては、*リカレント教育による支援など誰もが何歳になっても学び直しができる学習環境が求められています。
- ~~本市では、*米沢鷹山大学を市民主体の生涯学習を進める中核と位置づけ、市民が生涯学習についての理解を深め、一人ひとりが自分の関心を持つ分野や課題解決に向けて学習できるよう支援しています。~~
- 平成28年に開館したナセBA（市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリー）は、市民の生涯にわたる幅広い学びや学びの発表の場として利用されています。また、上杉博物館では企画展示や教育普及事業等を実施し、学びの機会を提供しています。今後も、ナセBA、博物館の特徴を最大限に活かしながら、市民のニーズに対応した幅広い年代層の更なる利用促進を図る必要があります。
- ~~市民の学びの拠点となる図書館は、安らぎや潤いの場にもなることから、全ての市民が図書に親しめる環境づくりを推進するとともに、郷土資料を活用した学術研究を進め、博物館と連携して地域文化の情報発信を充実させていく必要があります。~~
- 人口減少が急速に進む中、地域コミュニティを維持していくためには、地域社会の担い手の育成が強く求められており、自らの学びを活かして地域に活力を与えることができる人づくりを推進することが必要です。
- 地域のつながりが希薄化し家庭や地域の教育力の低下が懸念される中、家庭、学校、地域の連携を強化し家庭教育の充実を図ることや、子どもたちを地域で見守り育てることがより重要になっています。

* グローバル化（→P.○参照）

* リカレント教育（→P.○参照）

- ~~今後とも、様々な学習機会を通じて生きがいを持った感性豊かな活力ある市民を育てる環境づくりを進める必要があります。さらに、様々な年代が学べるよう学習機会の充実を図るほか、社会教育活動の拠点となる各地区のコミュニティセンター等を誰もが利用しやすい施設とするための環境整備が必要です。~~
- ~~また、学園都市の特徴を活かし、高等教育機関と連携した生涯学習体制を構築することで、市民の学習意欲を向上させる取組も必要です。~~

— ■■ 施策の目指す姿 ■■ —

- 生涯にわたって、自ら学び、り、個々のライフステージに応じ、学ぶことへの意欲や教養を高め、人と人とのつながりを深めながら、自己実現を図りながら地域で活躍でき、生きがいを感じて心豊かに暮らせるまちを目指します。

豊かな人間性を育む学びや、学び合いによるつながりで、市全体の活気を生み出します。また、学びの成果を活かして地域で活躍することで、地域コミュニティを豊かにするとともに、さらなる学びを喚起するような学びの好循環を実現し、誰もが心豊かに暮らせるまちを目指します。

~~市民の生涯学習の中心としてコミュニティセンターや米沢鷹山大学の講座内容の充実を図るとともに、まちづくりへの参加を促進するため生涯学習の環境整備を進めます。また、社会教育活動の拠点となる施設や図書館の活用を推進します。~~

— ■■ 施策での取組 ■■ —

2-2-1 生涯にわたる多様な学習機会の創出充実

担当課：社会教育・体育課
文化課

- ~~高度化、多様化する学習ニーズに対応した講座等の開催を推進します。~~
- ~~学習活動の場や発表の機会の提供とともに、多様な学習ニーズに応える学習相談体制を強化します。~~
- ~~米沢鷹山大学等の各種講座の充実を図るとともに、高等教育機関と連携した生涯学習講座の開催等、各種団体や市民のネットワーク形成と交流を促進します。~~
- ~~地域の学習活動拠点となるコミュニティセンターの学習講座等を充実させます。~~
- 乳幼児期においては、親子での体験活動や「*家読（うちどく）」の取組を推進することで家庭教育の充実を図り、子どもと大人が共に成長できるような学習機会を提供します。
- 学齢期においては、子どもの発達段階に応じた読書支援を行うなど、子どもの読書活動の推進を図るほか、高等教育機関の資源を活用した高度情報化社会やグローバ

*家読（→P.○参照）

ル社会に対応する学習の提供や、家庭・学校・地域が連携して、自然や伝統、文化等にふれる多様な体験学習の機会を提供します。

- 成人期・高齢期においては、市民の生涯学習の中核である米沢鷹山大学において、多様化する学習ニーズに応える学習相談の強化を図るほか、講座内容の充実とともに、ICTを利活用した講座等の提供方法の拡充により、幅広い学習内容と学習方法から一人ひとりのニーズに合わせて選択して学習できる環境を整備し、市民の主体的な学びを支援します。また就労や仕事のスキルアップにつながる学習機会の提供と、企業や高等教育機関と連携してリカレント教育の情報提供に努めます。
- 図書館の蔵書充実や郷土に関わる資料の収集・整理を図り、それらを活用した講座や展示会を開催し、学習機会の充実を図ります。
- 博物館の企画展示の充実や教育活動を推進し、学習機会の拡充を図ります。
- コミュニティセンターや米沢鷹山大学と高等教育機関、図書館、博物館、視聴覚センター等との連携を強化し、それぞれの機能や特性、資源を有効に活用することで多様なニーズに対応した質の高い学習を提供するとともに、地域の課題解決のための学び合いや仲間づくりの機会を拡充します。

2-2-2 学びを活かせる機会の拡充学習環境の整備

担当課：文化課、~~社会教育課~~

- 図書館機能を充実させ、誰もが利用しやすい環境を整備するとともに、貴重な古典籍や古文書等の郷土に関わる資料の収集、整理と活用を図り、情報発信機能を強化します。
- 環境、防災、健康等の様々な分野の地域課題について学習できる機会を提供するとともに、学習した人を、その分野で活動している各種団体等につなげることで、学びを活かして活躍できる機会や場所の拡充に努めます。
- 市民が学習で得た知識や経験、技能を小・中・高等学校で活かすことができるように、学校と市民をつなぐ仕組みを作ります。
- コミュニティセンターや社会教育施設等において、各種団体が学習活動や学習成果を発表できる機会を拡充し、市民の相互交流を推進します。

2-2-3 地域社会の担い手の育成

担当課：社会教育課

- コミュニティセンターや各種団体と連携して、地域への理解と関心を高め、まちづくりに取り組む市民の養成に努めます。
- コミュニティセンターが担う様々な活動を支援し、持続可能な地域社会の担い手の育成を図ります。

2-2-4 青少年教育・家庭教育の推進

担当課：社会教育課、文化課

- 家庭・学校・地域の連携を強化し、家庭教育の充実を図ります。
- 子どもが、自分の五感で、自然や優れた伝統、文化等を直接体験する活動の推進を

図ります。

- キャリア教育につながる体験活動を充実させます。
- 時代に即応した情報教育を推進します。
- 地域で子どもを見守り育てる環境づくりを進め、青少年の健全育成を推進します。

■主な事業：鷹山大学運営事業、生涯学習推進事業、新文化複合施設管理運営事業、地域学校協働活動推進事業、中央公民館事業、青年の家事業、青少年補導センター活動事業、市立米沢図書館図書購入事業

■ ■ 市民・地域・事業者等に期待する役割 ■ ■

- ・ (市 民) 生涯にわたって自ら学び続けましょう。生涯学習活動に積極的に参加しましょう。
- ・ (市 民) 地域の課題解決のための学びに積極的に参加し、学びの成果を活かして地域の教育活動や地域づくりに参画しましょう。
- ・ (事業者) 従業員の生涯学習活動や地域貢献活動を理解し、協力しましょう。
- ・ (事業者) リカレント教育や学び直しの支援に努めましょう。
- ・ (市民・地域) 地域全体で、子どもを見守りましょう。
- ・ (市 民) 自分の経験や学習した成果を地域における教育活動に活かしましょう。

■ ■ 目指す目標値（活動指標・成果指標） ■ ■

No	成果指標名	現状値の年度	現状値	前期目標値 (R2)	後期目標値 (R7)	担当課
4	コミュニティセンター及び置賜総合文化センターの利用者数	H26	382,350 人	400,000 人	400,000 人	社会教育課
1	コミュニティセンターの利用者数	R1	316,436 人	-	330,000 人	社会教育課
2	置賜総合文化センターの利用者数	R1	63,562 人	-	70,000 人	社会教育課
2	市民おもしろなカレッジ参加者の理解度	=	=	80.0%	80.0%	社会教育課
3	市民おもしろなカレッジ参加者の満足度	R1	97.0%	=	98.0%	社会教育課
4	図書貸出冊数	H26 R1	298,087 冊 446,008 冊	450,000 冊	463,000 冊	文化課

施策2-3-4 多様な文化芸術と歴史・文化が息づき、豊かな心を育む地域づくりの推進

郷土の歴史を継承し、 芸術文化を創造するまちづくりの推進

■ ■ 現状と課題 ■ ■

- 本市には平成28年度に開館する新文化複合施設（図書館・市民ギャラリー）ナセB A（市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリー）をはじめ、伝国の杜（置賜文化ホール・米沢市上杉博物館）や市民文化会館、座の文化伝承館等の文化施設があり、本市のみならず置賜地域の芸術文化芸術の拠点として活用されています。
- 本市には米沢市芸術文化協会を中心とした市民の自主的な芸術文化芸術活動が浸透しており、今後とも情報の共有化や連携を図り、市民の文化芸術活動を促進する必要があります。＝層強化し、活動の更なる活性化を図っていく必要があります。＝
- また、市民がより豊かな人生を送るための活力源となるよう、様々な文化芸術活動の場を提供していくとともに、文化芸術の発信や交流活動を推進し、文化芸術活動の活性化を図る必要があります。多くの市民が芸術文化を身近に感じられる環境づくりを行う必要があります。
- 本市には、上杉家ゆかりの貴重な国宝等、の貴重な文化財や国指定の史跡をはじめ、獅子踊りや*草木塔といった独自の伝統文化が数多く存在しています。これら文化財の適切な保存管理と継承、活用を図ることで地域の活性化に繋げていくことが必要です。これらの歴史・文化的資源を次代に確実に引き継ぐとともに、市民・事業者と連携し活用を図ることで、本市の魅力向上や賑わいを創出することが求められています。また、地域に伝わる伝統文化等の継承等を通じ、幼少期から郷土への誇りや愛着を養うことも必要です。

■ ■ 施策の目指す姿 ■ ■

- 受け継いできたがれてきた歴史や文化を保存・継承・活用し、誰もが郷土への誇りと愛情を持ち、多様な文化芸術活動があふれ、文化芸術をきっかけとした地域間や世代間等の交流が盛んな心豊かで活力ある文化のまちを目指します。

市民の豊かな心を育むめるよう芸術文化芸術の振興を図るとともに、本市の重要な文化財を適正に保護・保存・継承し、有効に活用することで市民の郷土愛を育み、交流人口の拡大増加等にも繋げ、本市の活性化を推進します。

* 草木塔（→ P. 〇参照）

■ ■ 施策での取組 ■ ■

2-3-1 文化芸術に親しむ機会の充実 芸術文化の振興

担当課：文化課

- 置賜文化ホールや市民文化会館、市民ギャラリー等における自主事業を充実し、市民が優れた芸術文化芸術に触れる機会を設けるとともに、芸術文化芸術に取り組む人材の育成を図るため、市民の文化活動への支援等により自主的な芸術文化芸術活動を促進します。
- 本市ゆかりの芸術家、作家の作品展や公演等の機会を設け、文化芸術を通じた郷土愛を育みます。るとともに、地域の伝統芸能や伝統文化の継承を支援するほか、~~芸術文化関係の情報収集と提供を推進します。~~
- 芸術創作活動拠点を整備し、当該拠点を核とした創作活動の輪を広げることで、地域の芸術活動の活性化を図り、芸術を通じた交流を生み出します。
- 総合的な文化芸術活動推進の指針となる計画等について検討します。

2-3-2 地域の伝統文化や文化財の保存・継承と活用 文化財の保護、保存と活用

担当課：観光課、文化課

- 文化財等の保護保存・継承活動を支援するとともに、学校や地域と連携し、子どもや地区住民が地域の伝統芸能や史跡等を学習する機会を設け、地域の伝統文化の文化財への理解と文化財を身近に感じられる環境を整備します。
- 本市所有の貴重な文化財を適切に保存管理するとともに、指定文化財等の適正な保護及び保存と活用を推進します。
- 史跡や遺跡をはじめとする様々な歴史的資産の保存と活用を図るとともに、鶴山城跡の国史跡指定と、史跡公園に向けた調査国指定史跡等の保存と整備を推進します。
- 博物館や市内史跡等の文化財を観光資源として活用し、することで地域の活性化を促進します。
- 本市文化財の保存と活用に関する総合的な指針となる文化財保存活用地域計画を策定します。

■ 主な事業：市民芸術文化活動促進事業、指定文化財保存修理事業、国指定史跡上杉治憲敬師郊迎跡保存整備事業

■ ■ 市民・地域・事業者等に期待する役割 ■ ■

- ・(市民) 様々な芸術文化芸術に親しみ、芸術文化芸術活動に参加しましょう。
- ・(市民・地域) 地域の祭りや伝統行事に積極的に参加し、文化財や歴史・文化の保存・継承に努めましょう。
- ・~~(事業者) 市民や従業員の芸術文化活動を理解し、協力しましょう。~~
- ・(市民・事業者) 歴史・文化財を観光資源に活用しましょう。

— ■■ 目指す目標値（活動指標・成果指標） ■■ —

No	成果指標名	現状値の 年度	現状値	前期目標値 (R2)	後期目標値 (R7)	担当課
1	文化施設利用件数	H26 <u>R1</u>	1,533 件 <u>1,554 件</u>	1,833 件	<u>1,800 件</u>	文化課
2	市民芸術祭への参加団体数	H26 <u>R1</u>	59 団体 <u>58 団体</u>	61 団体	<u>65 団体</u>	文化課
3	市指定文化財件数	H26 <u>R1</u>	55 件 <u>60 件</u>	57 件	<u>63 件</u>	文化課

施策2-4-3 スポーツで楽しく元気な人づくりの推進 誰もがスポーツに親しめる環境づくりの推進

■ ■ 現状と課題 ■ ■

- 市民の健康志向の高まりと競技力向上の意欲を背景に、子どもから高齢者までの幅広い年代において多様なスポーツを楽しむ人々が増加しています。一方で、国の調査によると、ビジネスパーソンや女性の運動不足、積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化の傾向が見られるほか、障がい者がスポーツを行える環境整備が不十分であるため、より多くの市民が生涯にわたって日常的にスポーツに親しめるよう、市民意識の向上を図り、スポーツ活動参加への機会づくりに努める必要があります。
- 東京オリンピックを契機として、スポーツに参加するだけでなく、観る・支える機会を増やすことで、市民のスポーツ活動に対する関心を高めることも必要です。
- 地域における生涯スポーツ推進のため、地域のスポーツ活動を担う総合型スポーツクラブを支援するとともに、スポーツ少年団等のスポーツ団体を育成していく必要があります。
- 本市においては、これまで、多目的屋内運動場、人工芝サッカーフィールド等のスポーツ体育施設の整備を行ってきましたが、今後も安全な施設の確保と計画的な施設の整備が必要です。多くのスポーツ施設で老朽化が進み、慢性的に修繕箇所が増加傾向にあるため、市民が安心してスポーツ活動を行えるよう計画的な修繕が必要です。
- 競技スポーツにおいて、東北大会や全国大会等に出場する選手を輩出するなど一定の成果を挙げていますが国民体育大会や全国大会への出場者数が減少傾向にあるため、今後の活躍においては、指導者の育成や大学や企業の知見を活用した更なる競技力向上が必要です。
- スポーツツーリズムの推進のため、スポーツイベントや大学の合宿誘致事業を実施していますが、交流人口に減少傾向が見られることから対策が求められます。

■ ■ 施策の目指す姿 ■ ■

- 生涯にわたって目的に応じたスポーツに親しむことができる **を楽しむ人が増え、市民が健康で元気に活躍する** まちを目指します。

生涯にわたって市民の健康を維持・向上させるためのスポーツや、観る・支える多様なスポーツ活動を推進するとともに、競技力向上のための指導体制を充実させます。
世代や障がいの有無にかかわらず、気軽にスポーツを楽しむ市民を増やすとともに、スポーツ環境や施設の整備を推進し、スポーツを通じた共生社会の実現と地域活力の向上を目指します。

また、関係団体と連携し、競技力の向上を進めるとともに、地域の特性を活かしたス

スポーツを推進します。

また、安全かつ適切なスポーツ環境を提供できるよう、計画的な体育施設の整備を推進します。

■ ■ 施策での取組 ■ ■

2-4-1 スポーツ参画人口の拡大とスポーツ環境の充実 担当課：社会教育・体育課 生涯スポーツ活動の推進 スポーツ課

- 市民の興味や関心、適性等に応じて日常的にスポーツ活動を楽しむ人に参加できる環境づくりに取り組み、学校、地域、団体と連携して「1市民1スポーツ」を推進します。
- 子どもから高齢者まで世代に応じたスポーツ活動を行い「1市民1スポーツ」を推進します。
- ビジネスパーソンや女性が気軽に親しめるスポーツの場や機会等の環境整備と、障がい者スポーツの普及を推進します。
- 学校体育をはじめ子どものスポーツ機会の充実により、運動の習慣化と体力向上を推進します。
- 適正な施設管理と、利用者の利便性向上のための施設整備を計画的に推進します。
- 指導者や審判等、スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍できる環境を整備します。
- 総合型地域スポーツクラブの拡充を推進します。
- プロスポーツ等~~を~~の観戦による「観る」機会及び各種スポーツ活動に係わる「支える」機会の提供を推進します。

2-4-2 スポーツを通じた共生社会の実現と地域活力の向上 担当課：社会教育・体育課 スポーツ団体の育成の推進 スポーツ課、社会福祉課、高齡福祉課、健康課、観光課

- 総合型地域スポーツクラブの組織化を支援するとともに、既存クラブ相互の連携を促進します。
- 市民が自分に合った総合型地域スポーツクラブを選択しスポーツ活動に参加できる情報の提供を行い、クラブ加入者の増加を促進します。
- 米沢市体育協会と連携し、スポーツ少年団や各種スポーツ団体の情報を発信し加入者の拡充を行い、青少年の健全育成や市民の健康増進を促進します。
- 障がい者等、配慮が必要な市民がスポーツを通じて社会参画をする共生社会の実現のため、子どもから高齢者、障がい者、女性も参加できるスポーツイベントやレクリエーションなどを実施します。
- 米沢市スポーツ協会や米沢市スポーツ推進委員会等の関係団体と連携し、スポーツを通じた健康長寿の推進に向けた取組を実施します。
- 合宿誘致事業や各種大会の誘致、ホストタウン推進事業を通じた観光、文化等による交流人口の拡充を推進します。

2-4-3 競技力の向上と地域スポーツの競技力向上の推進 担当課：社会教育・体育課
スポーツ課

- 米沢市体育スポーツ協会や企業等と連携し、競技団体による選手の強化や本市出身選手の地元定着に向けた環境整備を促進します。
- 米沢市体育スポーツ協会を中心とした、ジュニア期から一貫した指導理念に基づく大学や企業の知見を活用したジュニア期からの育成システムの構築と指導者の養成を促進します。
- 大学運動部等の合宿を本市へ誘致し、児童・生徒等とのスポーツ交流を図り、競技力向上を推進します。
- 豪雪地帯の特性を活かしたウインタースポーツや、べにばな国体とオリンピックのレガシーを活かした地域スポーツを推進します。

2-4-4 スポーツ推進体制の整備 担当課：スポーツ課

- 施策の進捗状況を、米沢市スポーツ推進審議会において定期的に検証します。
- スポーツ推進後期計画に基づいた施策の推進を図ります。
- 米沢市スポーツ協会や米沢市スポーツ推進委員会等のスポーツ団体とそれぞれの役割を果たしながら互いに連携し、施策の推進を図ります。

■主な事業：生涯スポーツ推進事業、スポーツ指導者育成事業、体育施設整備事業、市民スポーツ交流推進事業

— ■■ 市民・地域・事業者等に期待する役割 ■■ —

- ・(市民) それぞれの目的や目標に応じたスポーツ活動を楽しみましょう。
- ・(市民) 各種スポーツ大会やスポーツイベントに積極的に参加しましょう。
- ・(事業者) 企業福利厚生にスポーツ活動をとり入れましょう。推進するとともに、所有体育施設を開放しましょう。

— ■■ 目指す目標値（活動指標・成果指標） ■■ —

No	成果指標名	現状値の年度	現状値	前期目標値 (R2)	後期目標値 (R7)	担当課
4	スポーツ教室参加者数	H26	164人	200人	=	<u>スポーツ課</u>
<u>1</u>	<u>スポーツイベント参加者数(注1)</u>	<u>R1</u>	<u>347人</u>	=	<u>3,000人</u>	<u>スポーツ課</u>
<u>2</u>	<u>スポーツイベントボランティア参加者数</u>	<u>R1</u>	<u>465人</u>		<u>1,000人</u>	<u>スポーツ課</u>
<u>2</u> <u>3</u>	総合型地域スポーツクラブ数	H26 <u>R1</u>	4クラブ <u>4クラブ</u>	5クラブ	<u>5クラブ</u>	<u>スポーツ課</u>
<u>3</u> <u>4</u>	体育施設利用状況(注2)	H26 <u>R1</u>	389,082人 <u>380,966人</u>	400,000人	<u>400,000人</u>	<u>スポーツ課</u>

(注1) R1内訳：スポーツ教室、なせばなるスタンプラリーライドの参加者数合計

(注2) 市内22スポーツ施設利用者数

施策 2-5 多様な文化とつながり、交流するまちづくりの推進

■ ■ ■ 現状と課題 ■ ■ ■

- 本市では国内 6 都市・海外 2 都市と姉妹都市（友好都市）を締結しており、今後も本市とゆかりのある都市等との交流を市民や市民団体間で深めるほか、イベント等を通じて、多様な地域間の交流を推進することにより、市民の視野を広げ豊かな心を育む必要がある。
- 国際交流から外国人との交流を推進し、外国人が暮らしやすいまちづくりを推進する必要があります。

施策 2-5（国内交流・国際交流）は、関係人口創出や移住・定住促進等についても含めた施策とするため、「第 2 章 郷土がつくる人材が育つ、教育と文化のまちづくり」から、「第 6 章 持続可能なまちづくり（協働・行政経営）」に移行致します。

においても外国人等の多言語表記

【市秘書広報課】

■ ■ ■ 施策の目指す姿 ■ ■ ■

- 姉妹都市等との間で、活発な相互交流を図るとともに、外国人も暮らしやすいまちを目指します。

姉妹都市等との地域間交流を推進し、本市の魅力や特性を発信することで地域経済を活性化させるとともに、外国人が暮らしやすいまちづくりを推進するなど、国際交流を推進します。

施策2-5-6 大学と連携した学園都市の推進

■ ■ 現状と課題 ■ ■

- 本市には、山形大学工学部、米沢栄養大学及び米沢女子短期大学等の3つの高等教育機関が立地しており、企業や市民、小中高校等と連携・協働して様々な事業を展開するなど、地域に密着した学術研究機関として本市をはじめとした周辺地域の活性化に大きく貢献しています。
- 今後は、これら高等教育機関を中心とした学園都市が形成されている強みを活かして、地域課題や企業ニーズに対応した研究機関としての高等教育機関の機能充実を図ることと、既成の価値観から発想を転換し、新しい価値を創造できる人材や産業を地域全体で協力し、育成していくことが求められています。
- また、地域イベント・ボランティア等を通じ、大学と地域との交流や連携を促進するとともに、学生をはじめ、若い世代が住みよいまちづくりを推進し、地元高校生の地元大学への進学率を高めるとともに、積極的に地元企業の情報提供を行うなど、卒業する学生の地元定着や若者の地元就職、県外進学者のUターンの割合を高め、若年層の流出による人口減少を最小限にとどめる取組等が求められています。

■ ■ 施策の目指す姿 ■ ■

- 大学、企業、市民、地域が互いに連携を図り、新しい価値を創造して成功に導いていくまちを目指します。

魅力あるまちづくりに重要な役割を果たす本市の高等教育機関等を最大限に活用し、地域や企業、小中高校、市民が学び・交流・連携を図ることで、本市の活性化につながる新しい価値の創出を促すとともに、若者が本市で学びたい・住んでみたいと思えるまちづくりを目指します。

また、学生の地域活動への参加を促進し、その活力と行動力をまちづくりに活かすとともに学生が卒業後も住み続けたいと思えるまちづくりすことを目指します。

■ ■ 施策での取組 ■ ■

2-5-1 学生が生活しやすいまちづくりの推進

担当課：総合政策課、商工課

- 行政や地域活動等に学生の参画・参加を図り、学生も住みやすい卒業後も住み続けたいと思える地域づくりを推進します
- 学生に対する地元企業情報を含めた地域情報の発信を充実させます。
- 学生のニーズに対応した利便性の高い公共交通機関等の整備を推進します。

2-5-2 山形大学工学部、米沢栄養大学及び米沢女子短期大学の支援実施 担当課：総合政策課

- 新しい価値を創造できる人材育成と、地域課題や企業のニーズに対応した研究機関としての機能充実、施設整備等を国や県に要請します。

2-5-3 大学との交流や連携の促進 担当課：総合政策課、商工課、社会教育課、体育課、学校教育課

- 大学の知識や研究を活用した小中高校教育や市民への公開講座等の取組を促進します。するとともに、大学や山形大学産業研究所等の研究内容を活用した市内企業の新産業創出・新事業への参入に向けた支援を推進します。
- 大学での本市の行政概要等の講座を引き続き開講するよう大学へ働きかけるとともに、セカンドホーム事業等を通じて市民と学生との交流を促進します。
- 高等教育機関の出前講座等を活用し地元大学への興味を持ってもらうなど、高等学校と大学の高等学校・大学・地域の三者連携をさらに推進し、地元大学への進学率の向上を図るとともに、若者が地域の魅力に触れられる機会の提供に努めます。促進します。

■主な事業：セカンドホーム事業、高等教育機関開放講座委託事業、学園都市推進協議会支援事業、産学官協働による研究支援事業

■ ■ 市民・地域・事業者等に期待する役割 ■ ■

- ・(大 学・事業者) 大学と企業が連携し、新しい産業を創出しましょう。
- ・(市 民) 大学のイベント等に積極的に協力、参加しましょう。
- ・(学 生) 地域の行事やボランティア活動に積極的に参画・参加しましょう。

■ ■ 目指す目標値（活動指標・成果指標） ■ ■

No	成果指標名	現状値の年度	現状値	前期目標値 (R2)	後期目標値 (R7)	担当課
1	セカンドホーム事業累計交流組数	H26 R1	384組 (H20～H26累計) 累計556組 (～R1累計)	800組 (H20～R2累計)	累計700組 (～R7累計)	総合政策課
2	米沢市民カレッジ受講者数	H26 R1	47人 47人	80人	60人	総合政策課
3	<u>市内大学生・大学院生と地元企業のマッチングを目的としたセミナー・ガイダンス・イベント参加人数</u>	R1	1,368人 (単年)	=	延べ6,000人 (R3～R7延べ)	商工課